

## b) H 地区

確認した貴重な動物種の確認一覧を表 6.1.4-4 に、確認位置を図 6.1.4-3 に示した。

H 地区で確認した貴重な動物種は、哺乳類は [ ] や [ ] [ ] など 5 種、鳥類は [ ] や [ ] など 9 種、爬虫類は [ ] [ ] や [ ] など 6 種、両生類は [ ] や [ ] [ ] など 8 種、昆虫類は [ ] や [ ] など 6 種、甲殻類は [ ] の 1 種、クモ類は [ ] や [ ] [ ] など 4 種、陸産貝類は [ ] や [ ] など 15 種が確認され、全分類群では 22 目 39 科 54 種となった。

季節別に見ると、夏季調査での確認が 44 種と最多であった。

表 6.1.4-4 貴重な動物種の確認状況(H地区)

No.	分類群	目名	科名	種または亜種名	学名	確認状況(H地区)				指定状況				
						春季	夏季	秋季	冬季	天然記念物	種の保存法	環境省	沖縄県	
1	哺乳類								1			NT	NT	
2						1	2						NT	
3						2	1	2	3			EN	EN	
4						1	1	2						
5						振り返し22	振り返し76 足跡1 ヌタ増1	幼獣2 振り返し30 足跡3 ヌタ増2	幼獣1 振り返し30 足跡3					VU
6	鳥類					1			3 食痕1	国天	国内	EN	CR	
7							7	2		国天		NT	VU	
8						10	4	17	21	国天	国内	CR	CR	
9						2			5				VU	
10						7	1	4	6				NT	
11						5	3	4	10				NT	
12						11	8		5	特天	国内	CR	CR	
13						幼鳥1 巣跡28 振りかけ巣1 採餌痕12	巣跡1	採餌痕21	採餌痕6	巣跡1 採餌痕20				
14						2	6	1	12					NT
15		爬虫類					14 幼鳥1 営巣2 巣跡3	41	23	30 幼鳥1	国天	国内	EN	EN
16							2							EN
17						30 幼体1	24	6	2	国天		VU	EN	
18						3	3	4	3	県天	国内	VU	VU	
19						1	2		3				NT	
20						1	4	3	3				VU	
21	両生類						1	幼体4	幼体2	幼体2				VU
22														VU
23							3 幼生41	10	11	15	県天	国内	VU	VU
24							149 幼生5	158 幼生22	51 幼生6	260 幼生10				NT
25						1							NT	
26							5	4	44 幼体47 幼生1,085 卵塊13				NT	VU
27							1	2	4	卵塊1	県天	国内	EN	EN
28						42 幼体4 幼生4	63 幼体6	71 幼体4	179 幼体4	卵塊54				VU
29		昆虫類					31 幼体2 幼生1,057 卵塊9	26 幼体3 幼生112 卵塊18	6 幼体17 幼生68 卵塊1	幼体6 幼生114	県天	国内	EN	EN
30							24 幼体8 幼生14 卵塊4	17 幼体5 幼生1	16 幼体3	16 幼体10	県天	国内	EN	EN
31									幼生1					
32						43	34	5	20				NT	NT
33						15	28	26	16				NT	NT
34													NT	NT
35	甲殻類						1		食痕2				NT	NT
36							食痕5						NT	NT
37	クモ類						1	4	5				NT	NT
38							2	4			国天			
39	陸産貝類					巣穴92	巣穴64	巣穴253	巣穴195				VU	
40						1	1						NT	NT
41							巣穴1	1					VU	NT
42							巣穴3	6	3				NT	NT
43							4						VU	NT
44							1			7			VU	NT
45						12	10	15	43				VU	VU
46						12	29	26	55				VU	VU
47						2	2	3	5				VU	CR+EN
48						1	1	4	2				CR+EN	CR+EN
49					5	18	7	6				NT	NT	
50							1	6				NT	NT	
51						7	5	10				NT	NT	
52					3	3	2	14				※	※	
53					2	2	2	6				NT	NT	
54						1						VU	VU	
-	-	22目	39科	54種	40種	44種	39種	40種	12種	9種	37種	43種	CR+EN	

注1) 小型コウモリ類は、飛翔個体の目撃など種の同定に至らなかったが当該地域に生息する全種が貴重種であることから貴重種として扱った。  
 注2) [ ] については、野外で同定困難な複数種を含む可能性があることから、カテゴリ指定状況を示せなかった。  
 注3) 貴重種指定状況のカテゴリを以下に示す。  
 \* 環境省：「環境省レッドリスト2019」(2019)環境省  
 \* 沖縄県：「改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物(レッドデータおきなわ)第3版-動物編-」(2017年 沖縄県)  
 I A (CR) → 絶滅危惧 I A 類 (絶滅の危機に瀕している種-ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの)  
 I B (EN) → 絶滅危惧 I B 類 (絶滅の危機に瀕している種- I A 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの)  
 II (VU) → 絶滅危惧 II 類 (絶滅の危険が増大している種-現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧 I 類」のランクに移行することが確実と考えられるもの)  
 準 (NT) → 準絶滅危惧 (存続基盤が脆弱な種-現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの)  
 地域 (LP) → 地域個体群 (地域的に孤立しており、地域レベルでの絶滅のおそれが高い個体群)  
 \* 種の保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年法律75号)  
 国内 → 国内希少野生動植物種 (本邦に生息し又は生育する絶滅のおそれのある野生動植物の種)  
 \* 天然記念物：「文化財保護法」(昭和25年法律214号)  
 特天 → 特別天然記念物 国天 → 国指定天然記念物 県天 → 県指定天然記念物

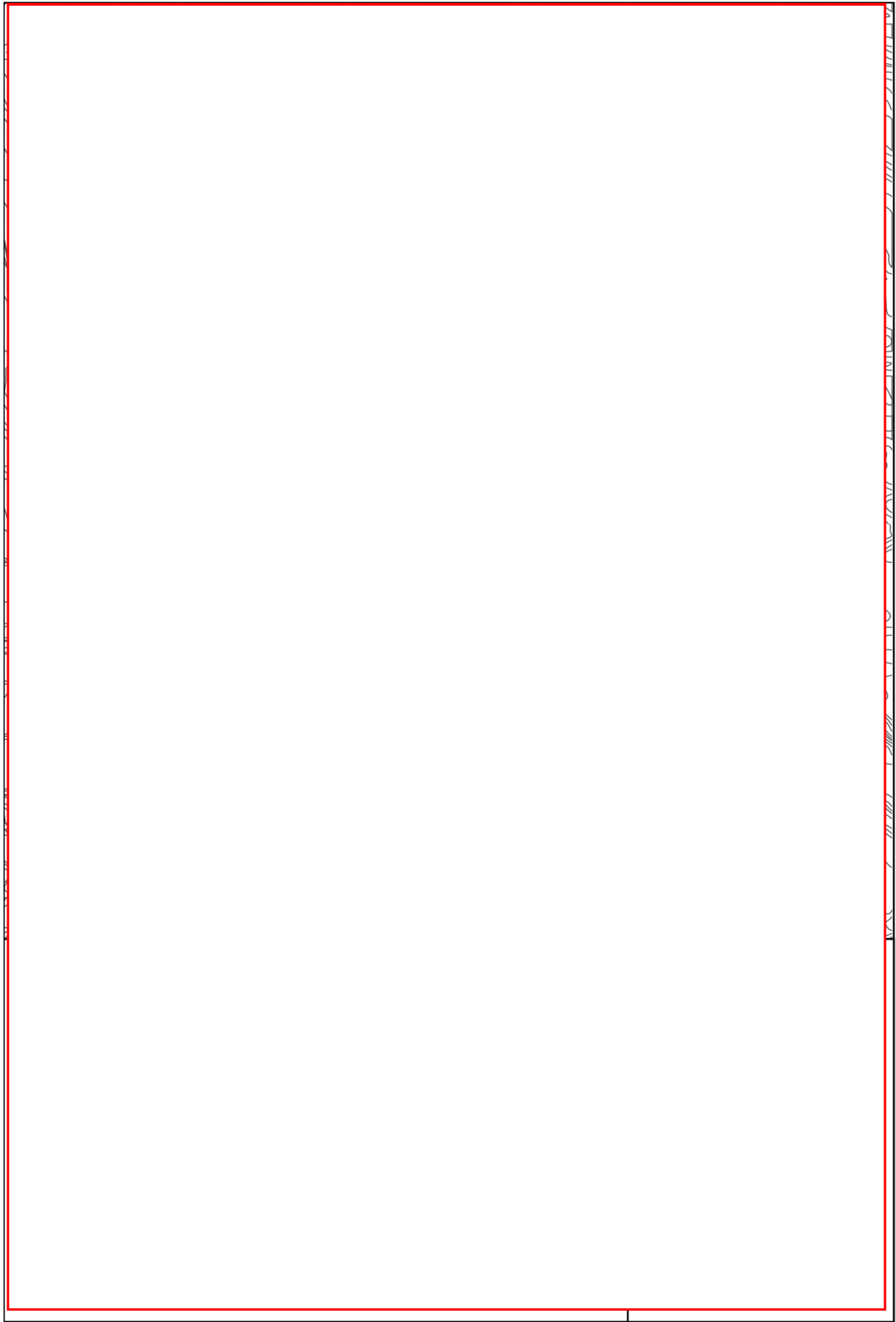


図 6.1.4-3 (1) 貴重な動物種の確認位置(H地区：哺乳類・甲殻類・クモ類)

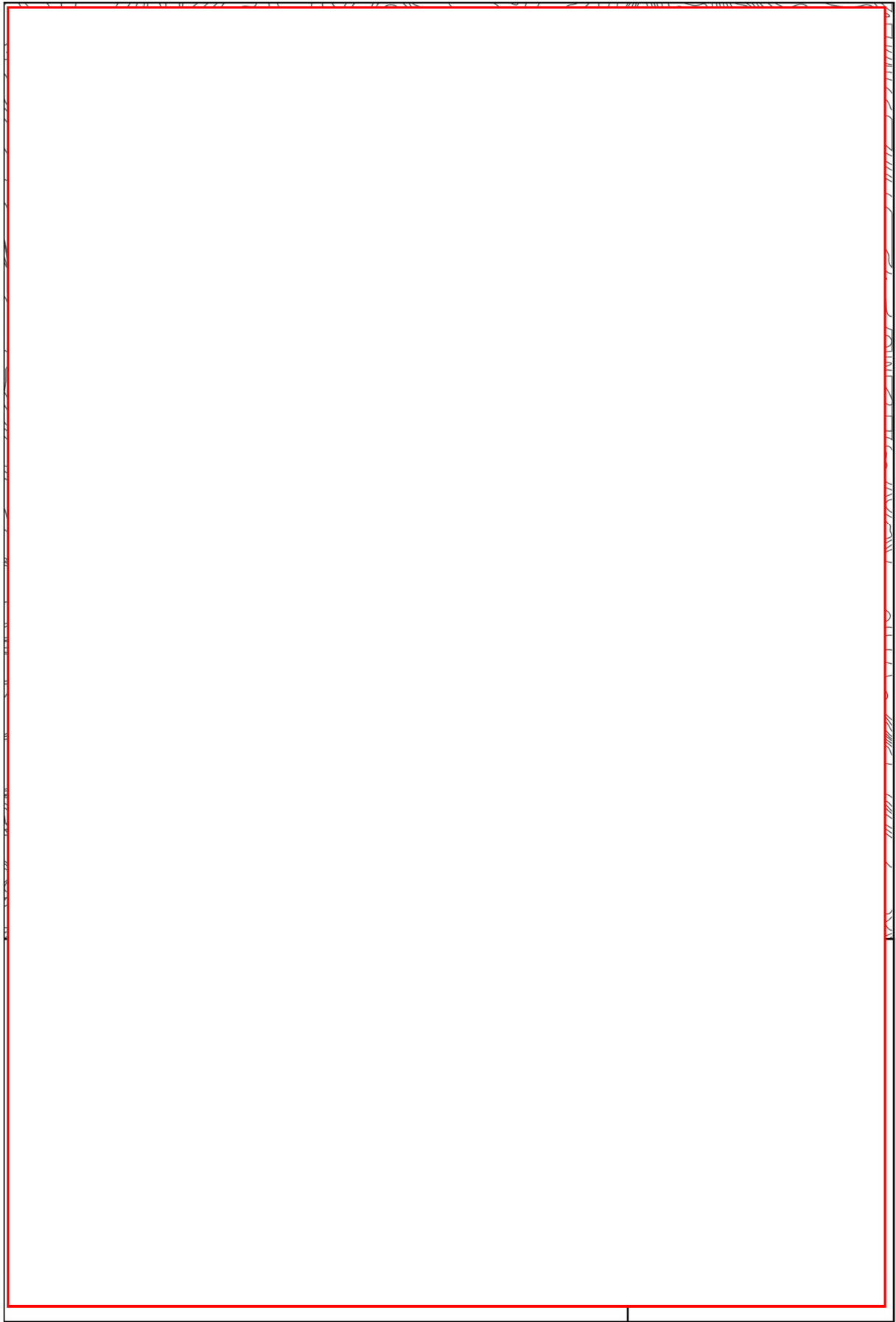


図 6.1.4-3 (2) 貴重な動物種の確認位置(H地区：鳥類)

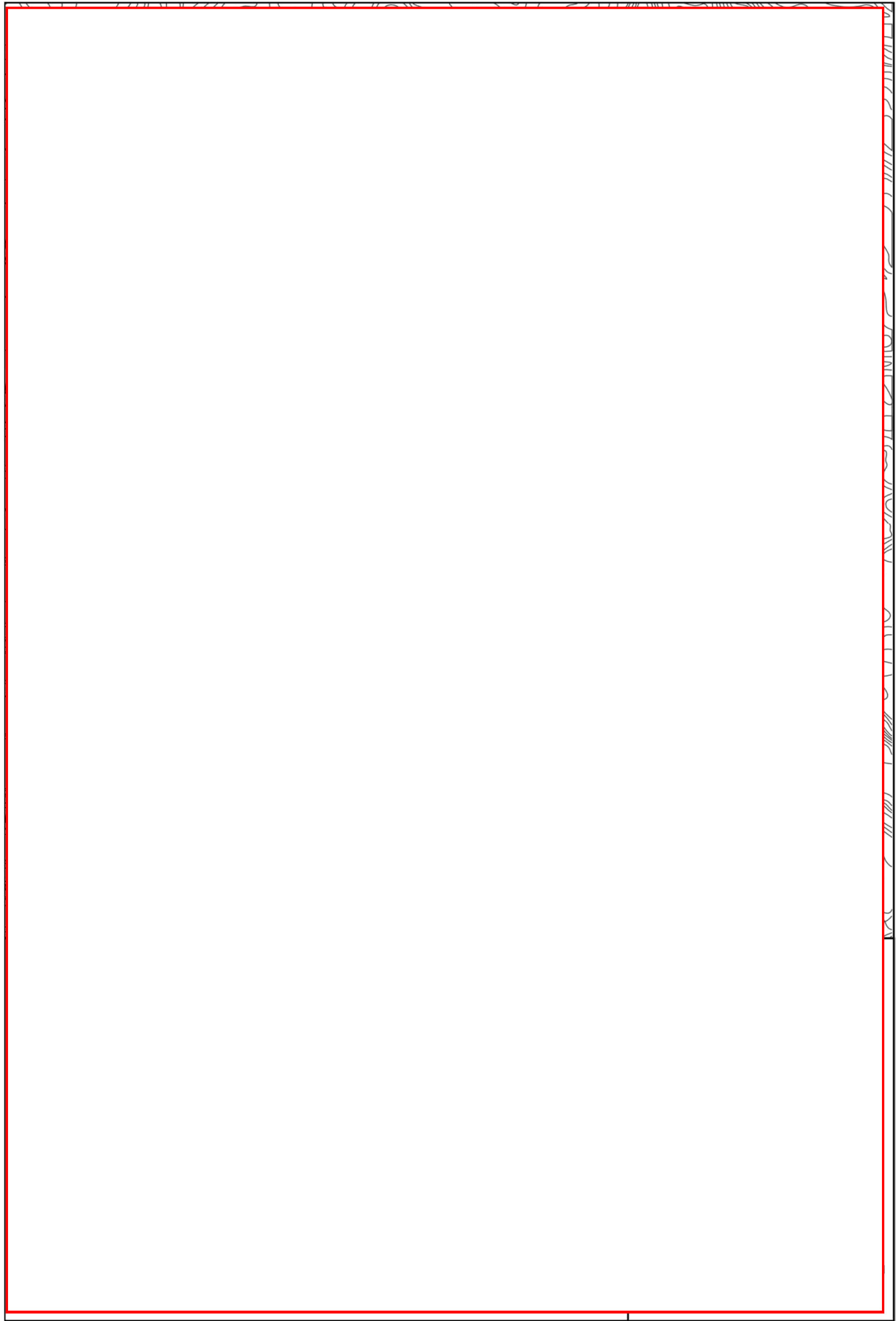


図 6.1.4-3 (3) 貴重な動物種の確認位置(H地区：爬虫類)

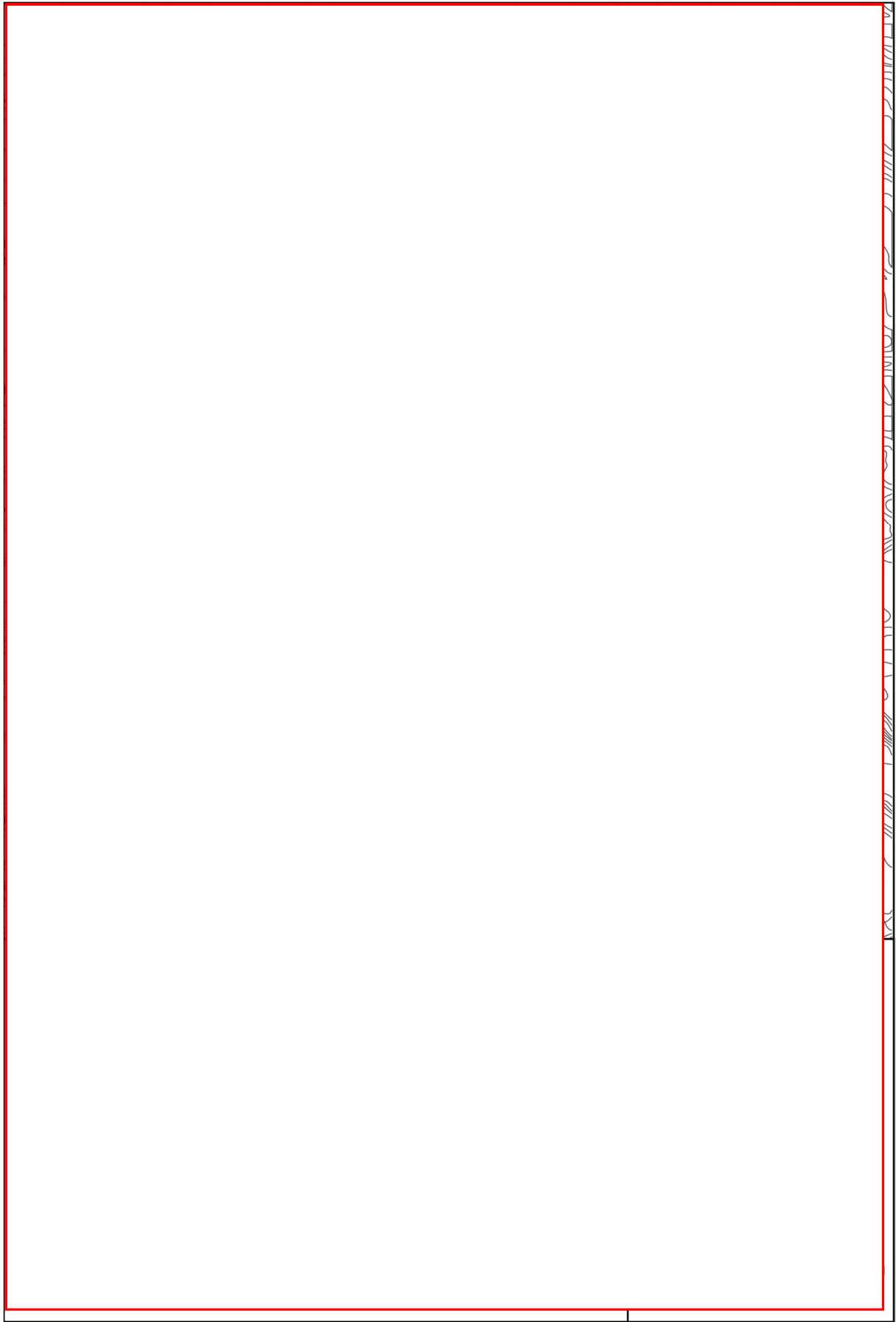


図 6.1.4-3 (4) 貴重な動物種の確認位置(H地区：両生類)



図 6.1.4-3 (5) 貴重な動物種の確認位置(H地区：昆虫類)

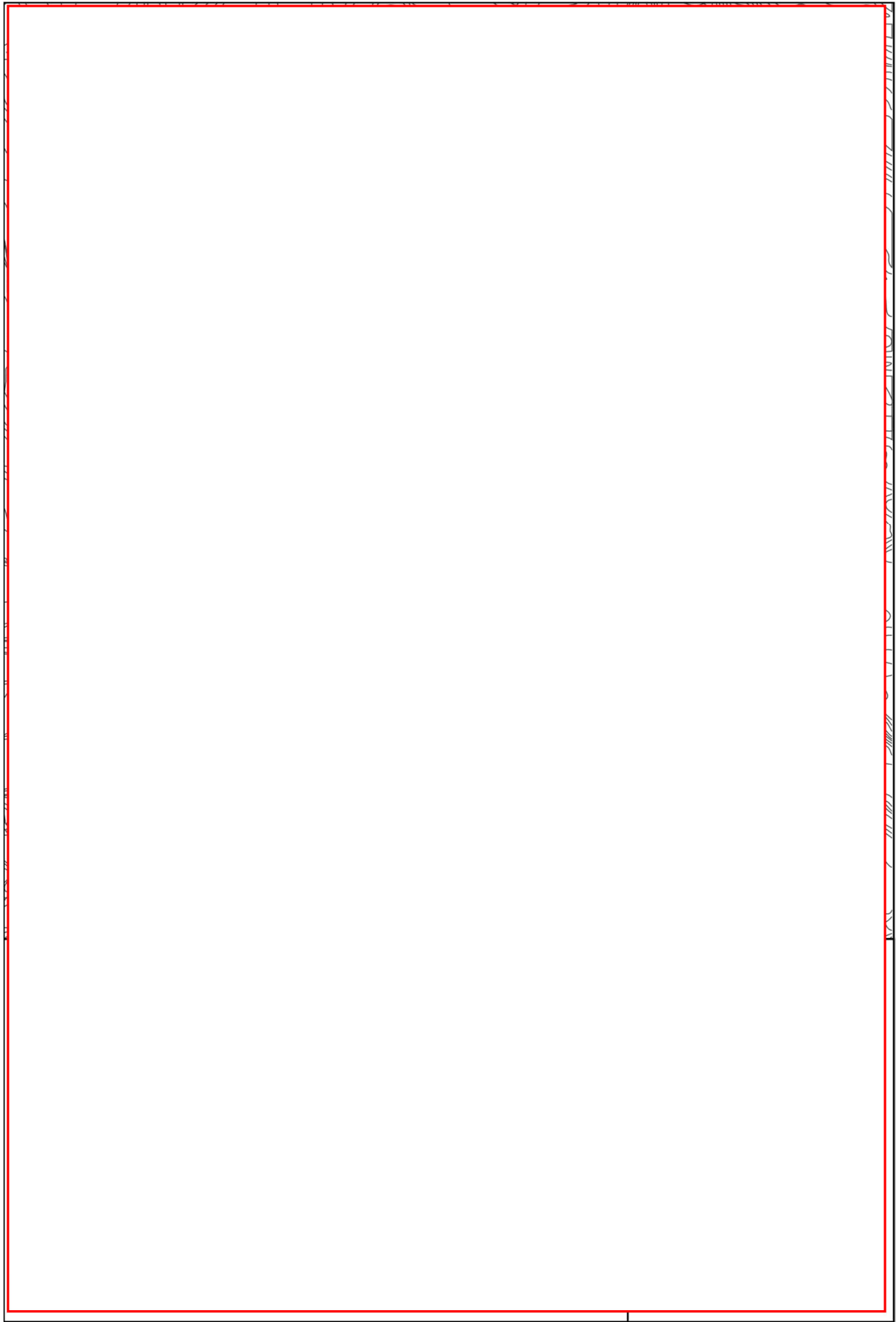


図 6.1.4-3 (6) 貴重な動物種の確認位置(H地区：陸産貝類)



c) N-1 地区

確認した貴重な動物種の確認一覧を表 6.1.4-5 に、確認位置を図 6.1.4-4 に示した。

N-1 地区で確認した貴重な動物種は、哺乳類は [ ] や [ ] など 4 種、鳥類はや [ ] や [ ] など 12 種、爬虫類は [ ] や [ ] など 4 種、両生類は [ ] や [ ] など 8 種、昆虫類は [ ] や [ ] など 12 種、クモ類は [ ] や [ ] など 4 種、陸産貝類は [ ] や [ ] など 14 種が確認され、全分類群では 24 目 41 科 58 種となった。

季節別に見ると、冬季調査での確認が 43 種と最多であった。

表 6.1.4-5 貴重な動物種の確認状況(N-1地区)

No.	分類群	目名	科名	種または亜種名	学名	確認状況(N-1地区)				指定状況					
						春季	夏季	秋季	冬季	天然記念物	種の保存法	環境省	沖縄県		
1	哺乳類						1	1				EN	EN		
2										4			EN	EN	
3							1	振り返し16	振り返し5	振り返し47	振り返し32			VU	
4								足跡1	足跡7	足跡3	足跡1				
5		鳥類									1	国天	国内	EN	CR
6											食痕8				
7														EN	CR
8														NT	VU
9														CR	CR
10														VU	VU
11														NT	NT
12														NT	NT
13														NT	NT
14														NT	NT
15													NT	NT	
16													NT	NT	
17	爬虫類														
18															
19	両生類														
20															
21															
22															
23															
24															
25															
26															
27															
28															
29	昆虫類														
30															
31															
32															
33															
34															
35															
36															
37															
38															
39															
40															
41		クモ類													
42															
43															
44															
45		陸産貝類													
46															
47															
48															
49															
50															
51															
52															
53															
54															
55															
56															
57															
58															
-		24目	41科		58種	40種	31種	41種	44種	12種	9種	40種	45種		

注1) 小型コウモリ類は、飛翔個体の目撃など種の同定に至らなかったが当該地域に生息する全種が貴重種であることから貴重種として扱った。  
 注2) 24目については、野外で同定困難な複数種を含む可能性があることから、カテゴリー指定状況を示せなかった。

注3) 貴重種指定状況のカテゴリーを以下に示す。  
 \* 環境省：「環境省レッドリスト2019」(2019) 環境省  
 \* 沖縄県：「改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物（レッドデータおきなわ）第3版-動物編-」(2017年 沖縄県)  
 I A (CR) → 絶滅危惧 I A 類（絶滅の危機に瀕している種-ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの）  
 I B (EN) → 絶滅危惧 I B 類（絶滅の危機に瀕している種-I A 類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの）  
 II (VU) → 絶滅危惧 II 類（絶滅の危険が増大している種-現在の状態をもちた圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧 I 類」のランクに移行することが確実と考えられるもの）  
 準 (NT) → 準絶滅危惧（存続基盤が脆弱な種-現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの）  
 地域 (LP) → 地域個体群（地域的に孤立しており、地域レベルでの絶滅のおそれが高い個体群）  
 \* 種の保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成4年法律75号）  
 国内→国内希少野生動植物種（本邦に生息し又は生育する絶滅のおそれのある野生動植物の種）  
 \* 天然記念物：「文化財保護法」（昭和25年法律214号）  
 特天→特別天然記念物 国天→国指定天然記念物 県天→県指定天然記念物

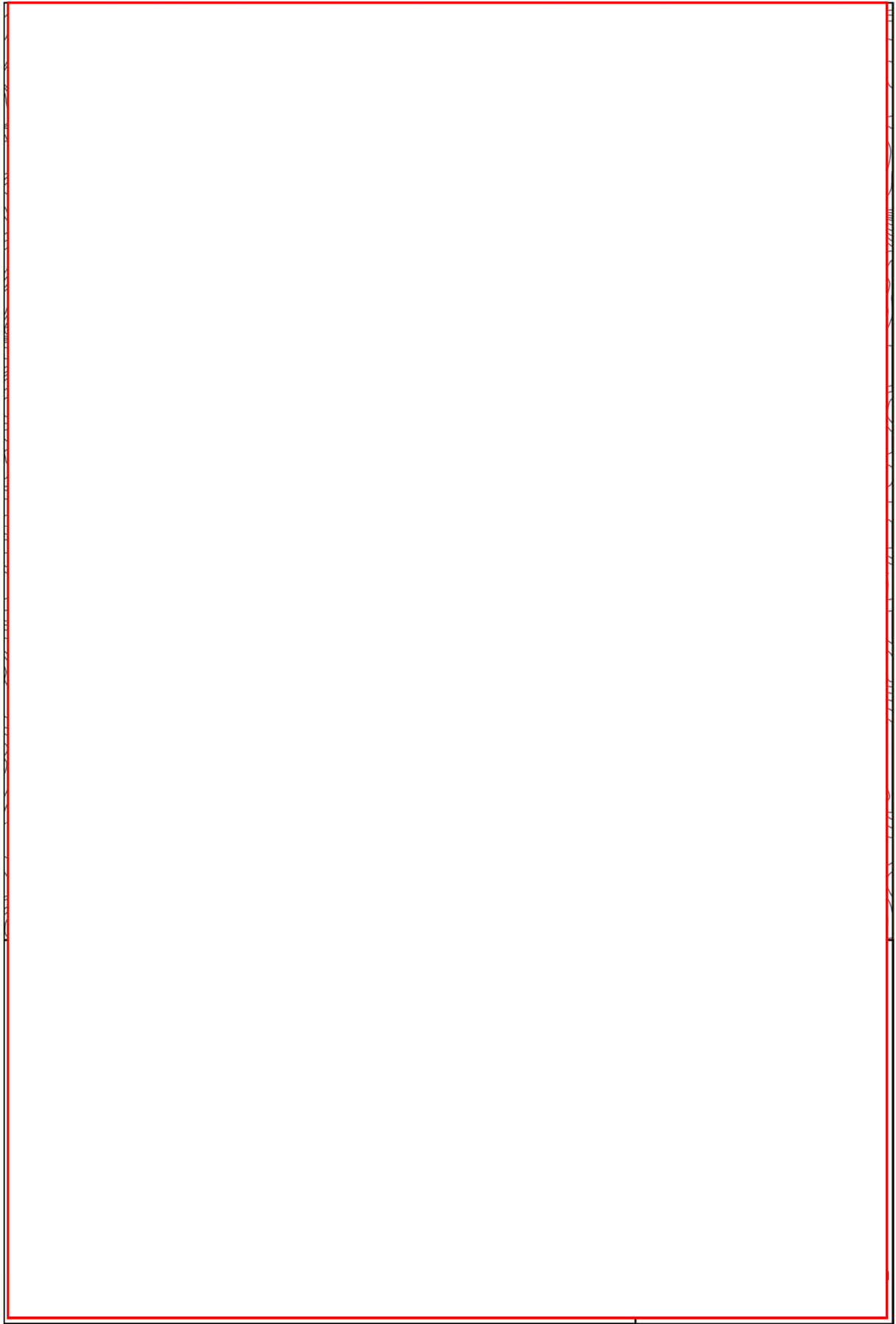


図 6.1.4-4 (1) 貴重な動物種の確認位置 (N-1 地区 : 哺乳類・クモ類)



図 6.1.4-4 (2) 貴重な動物種の確認位置 (N-1 地区 : 鳥類)

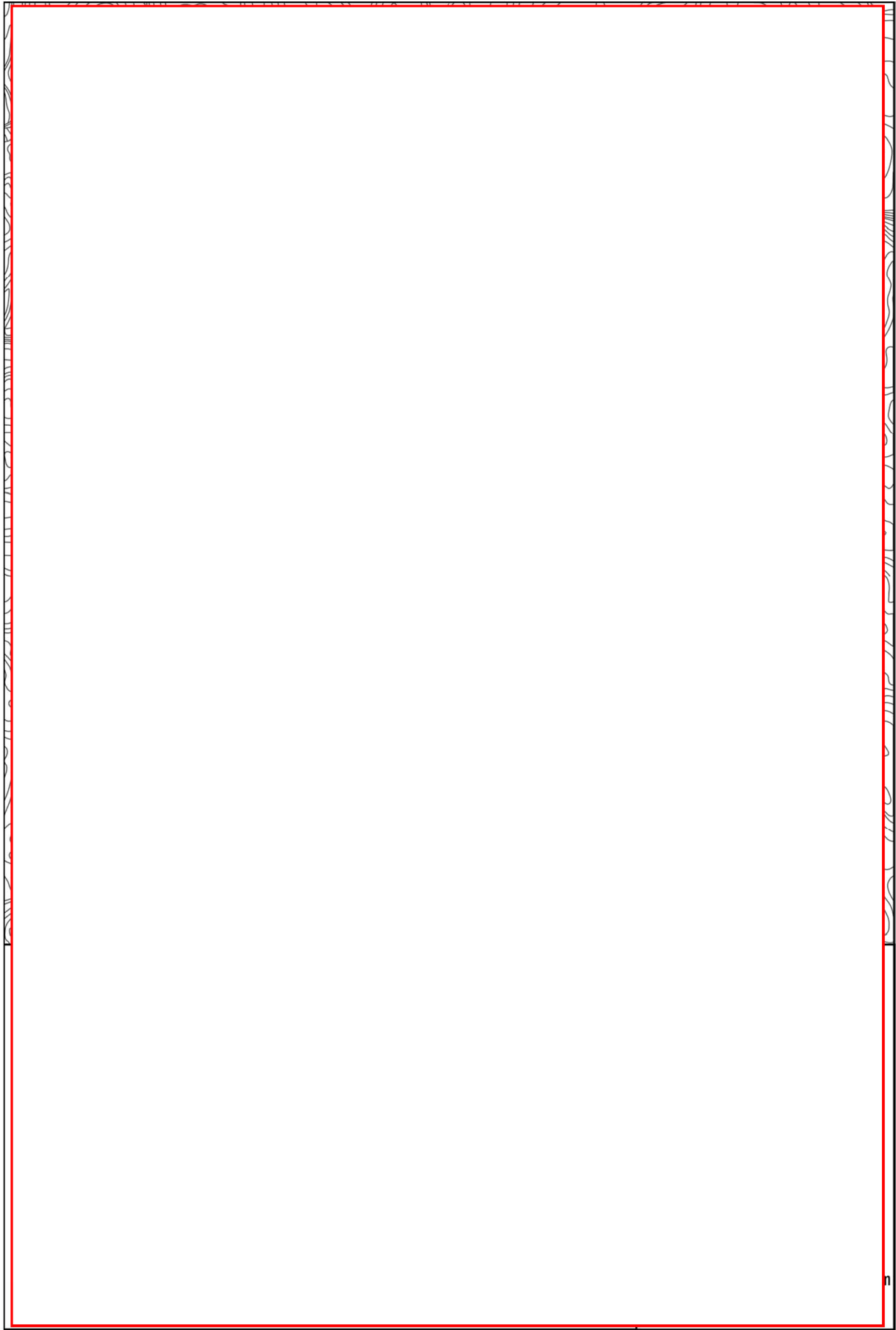


図 6.1.4-4 (3) 貴重な動物種の確認位置 (N-1 地区 : 爬虫類)



図 6.1.4-4 (4) 貴重な動物種の確認位置 (N-1 地区 : 両生類)

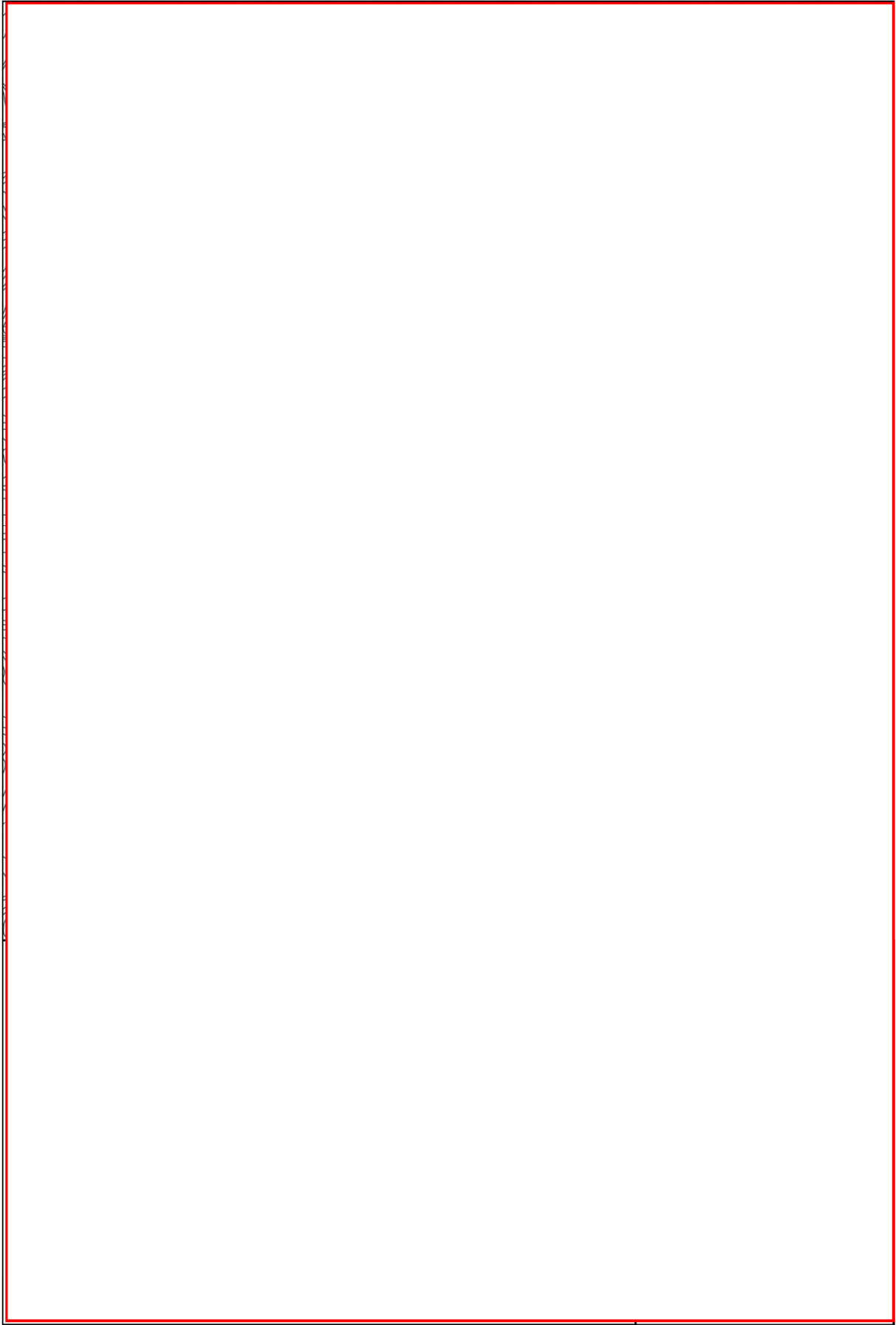


図 6.1.4-4 (5) 貴重な動物種の確認位置 (N-1 地区 : 昆虫類)



図 6.1.4-4 (6) 貴重な動物種の確認位置(N-1 地区：陸産貝類)



#### d) N-4 地区

確認した貴重な動物種の確認一覧を表 6.1.4-6 に、確認位置を図 6.1.4-5 に示した。

N-4 地区で確認した貴重な動物種は、哺乳類は [ ] や [ ]  
[ ] など 4 種、鳥類は [ ] や [ ] や [ ]  
[ ] など 10 種、爬虫類は [ ] や [ ] など 6 種、両生類は [ ]  
[ ] や [ ] など 7 種、昆虫類は [ ] や [ ]  
[ ] など 7 種、甲殻類は [ ] の 1 種、クモ類は [ ] や  
[ ] など 4 種、陸産貝類は [ ] や [ ]  
[ ] など 16 種が確認され、全分類群では 21 目 37 科 55 種となった。

季節別に見ると、夏季調査での確認が 49 種と最多であった。

表 6.1.4-6 貴重な動物種の確認状況(N-4 地区)

No.	分類群	目名	科名	種または亜種名	学名	確認状況(N-4地区)		指定状況					
						春季	夏季	天然記念物	種の保存法	環境省	沖縄県		
1	哺乳類						1			NT	NT		
2							1				NT		
3							1	3		EN	EN		
4								3			VU		
5	鳥類						掘り返し11	掘り返し3				EN	
6							2					EN	
7								1	国天	国内	CR	CR	
8							1	2			VU	VU	
9							3	1				NT	
10								2				NT	
11							7 巣1	2					NT
							13 幼鳥1 営巣1 掘りかけ2 巣跡9 採餌痕33	4	特天	国内	CR	CR	
12							8	4					NT
13							27 幼鳥1 営巣5 巣跡2	12 幼鳥1	国天	国内	EN	EN	
14		爬虫類					2				DD	EN	
15						12	8	国天		VU	EN		
16						1 幼体1	16 幼体1	県天	国内	VU	VU		
17						7	2				NT		
18						16	29 幼体3			VU	VU		
19						2				VU	VU		
20							1				NT		
21	両生類					20 幼生212 卵1	16 幼生66	県天	国内	VU	VU		
22						182 幼生153	134 幼生49				NT		
23						8 幼生7	15				NT		
24						16 幼体8	5 幼体3				NT		
25						37 幼体2	45 幼体7			VU	EN		
26						12 幼生19	12 幼体6 幼生53	県天	国内	EN	EN		
27						10 幼体5 幼生37 卵塊2	16 幼体10 幼生61 卵塊2	県天	国内	EN	EN		
28	昆虫類						1				NT		
29						2	9				NT		
30						7	8				NT		
31											NT		
32											NT		
33						1	2				NT		
34						5					NT		
35	甲殻類						1	国天					
36		クモ類				巣穴103	巣穴173				VU		
37							1				NT		
38							3				VU		
39	陸産貝類						15				NT		
40						3	1				NT		
41						1	5			※	※		
42						1				VU	NT		
43						3	3			VU	VU		
44						9	9				VU		
45						2	13			VU	CR+EN		
46							1			CR+EN	CR+EN		
47						1	19				NT		
48						28	14				NT		
49							9			DD	NT		
50						2					NT		
51							5				NT		
52						23	7			VU	VU		
53						140	147			VU	VU		
54					3	9			VU	CR+EN			
55						10					NT		
-	-	21目	37科		55種	38種	49種	9種	7種	38種	44種		

注1) 小型コウモリ類は、飛翔個体の目撃など種の同定に至らなかったが当該地域に生息する全種が貴重種であることから貴重種として扱った。  
 注2) [ ]については、野外で同定困難な複数種を含む可能性があることから、カテゴリ指定状況を示せなかった。

注3) 貴重種指定状況のカタゴリーを以下に示す。

\* 環境省：「環境省レッドリスト2019」(2019) 環境省

\* 沖縄県：「改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物（レッドデータおきなわ）第3版-動物編-」(2017年 沖縄県)

Ⅰ A (CR) → 絶滅危惧Ⅰ A類（絶滅の危機に瀕している種-ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの）

Ⅰ B (EN) → 絶滅危惧Ⅰ B類（絶滅の危機に瀕している種-Ⅰ A類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの）

Ⅱ (VU) → 絶滅危惧Ⅱ類（絶滅の危険が増大している種-現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧Ⅰ類」のランクに移行することが確実と考えられるもの）

準 (NT) → 準絶滅危惧（存続基盤が脆弱な種-現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの）

地域 (LP) → 地域個体群（地域的に孤立しており、地域レベルでの絶滅のおそれが高い個体群）

\* 種の保存法：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成4年法律75号）

国内 → 国内希少野生動植物種（本邦に生息し又は生育する絶滅のおそれのある野生動植物の種）

\* 天然記念物：「文化財保護法」（昭和25年法律214号）

特天 → 特別天然記念物 国天 → 国指定天然記念物 県天 → 県指定天然記念物

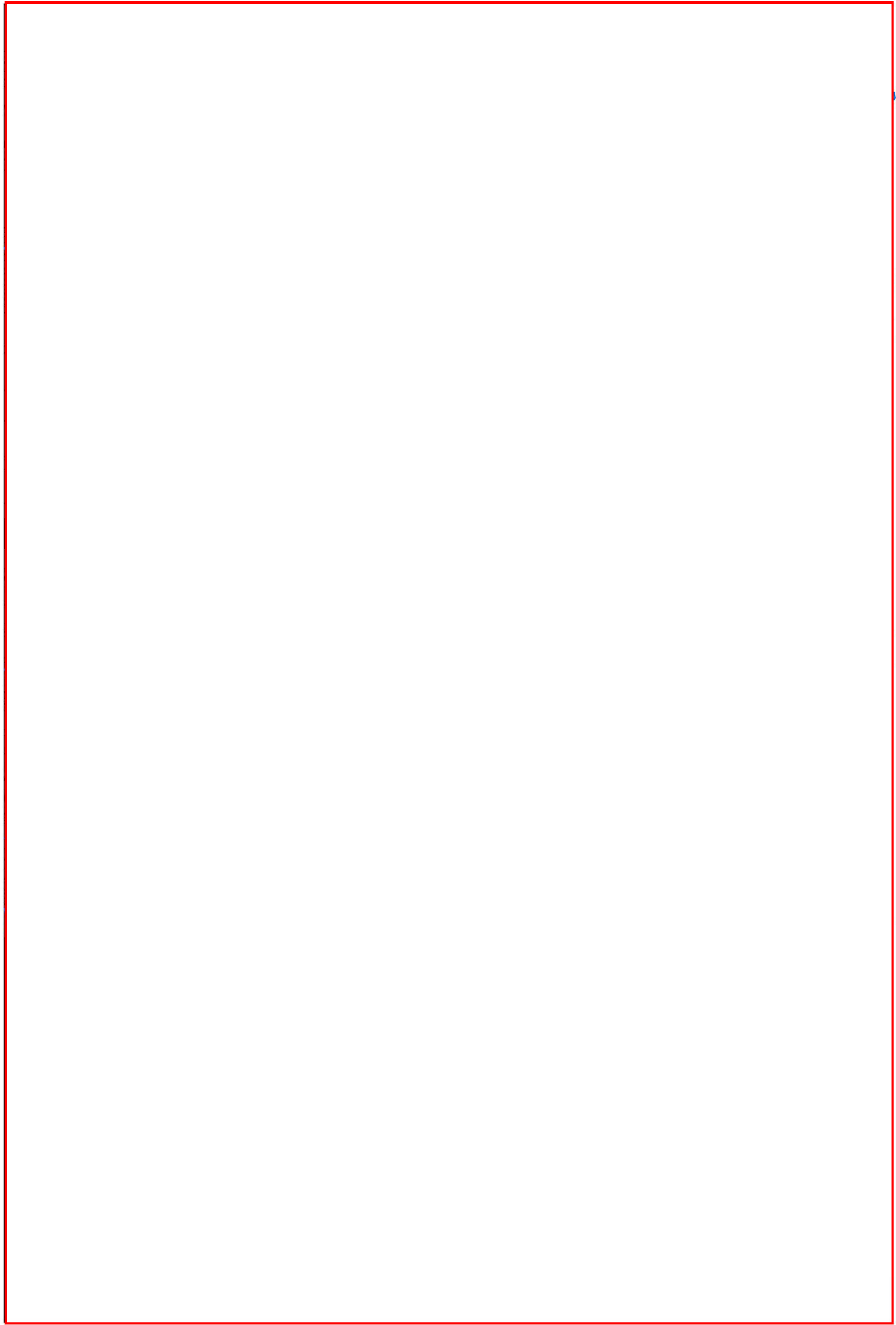


図 6.1.4-5 (1) 貴重な動物種の確認位置(N-4 地区：哺乳類・甲殻類・クモ類)

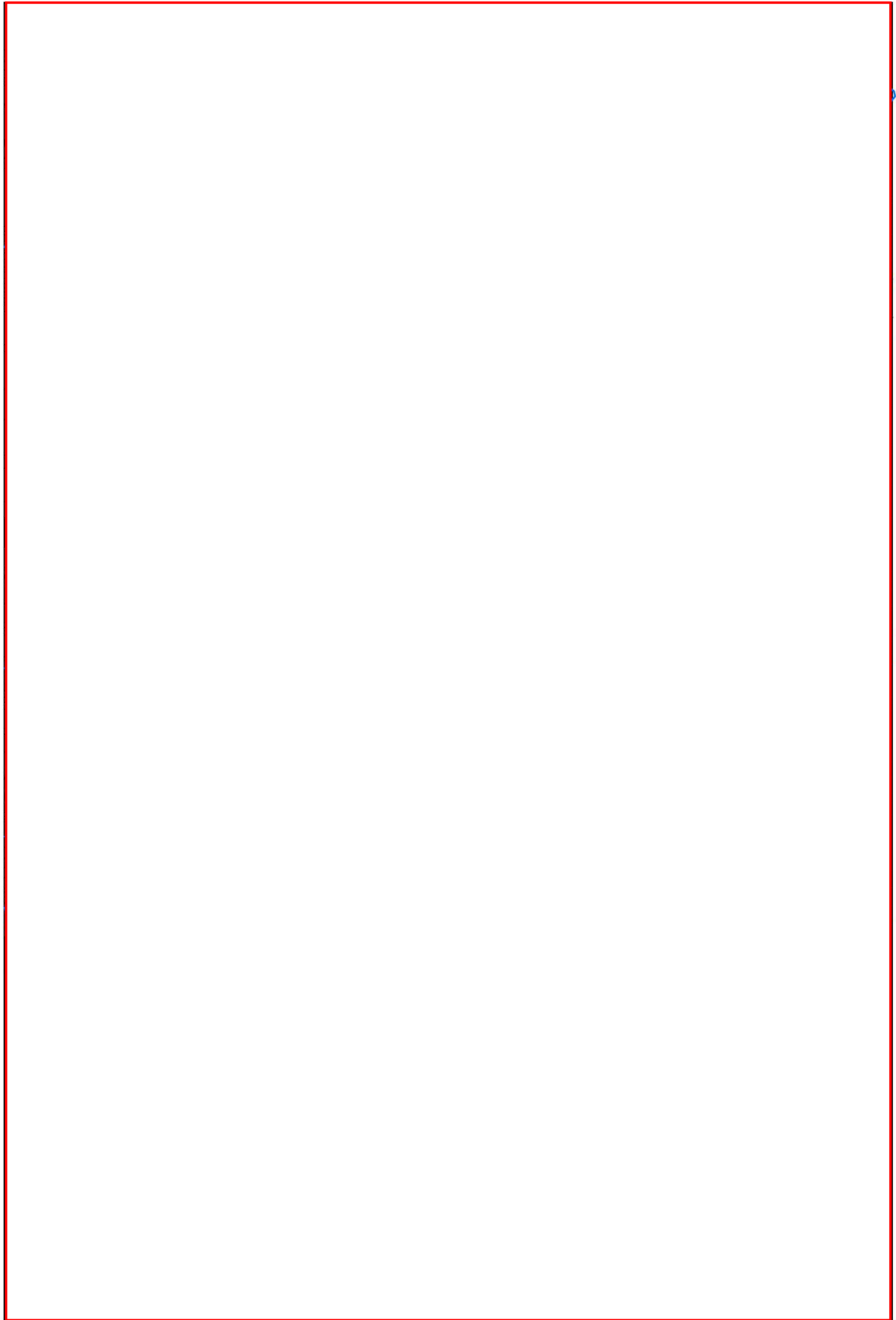


図 6.1.4-5 (2) 貴重な動物種の確認位置(N-4 地区：鳥類)

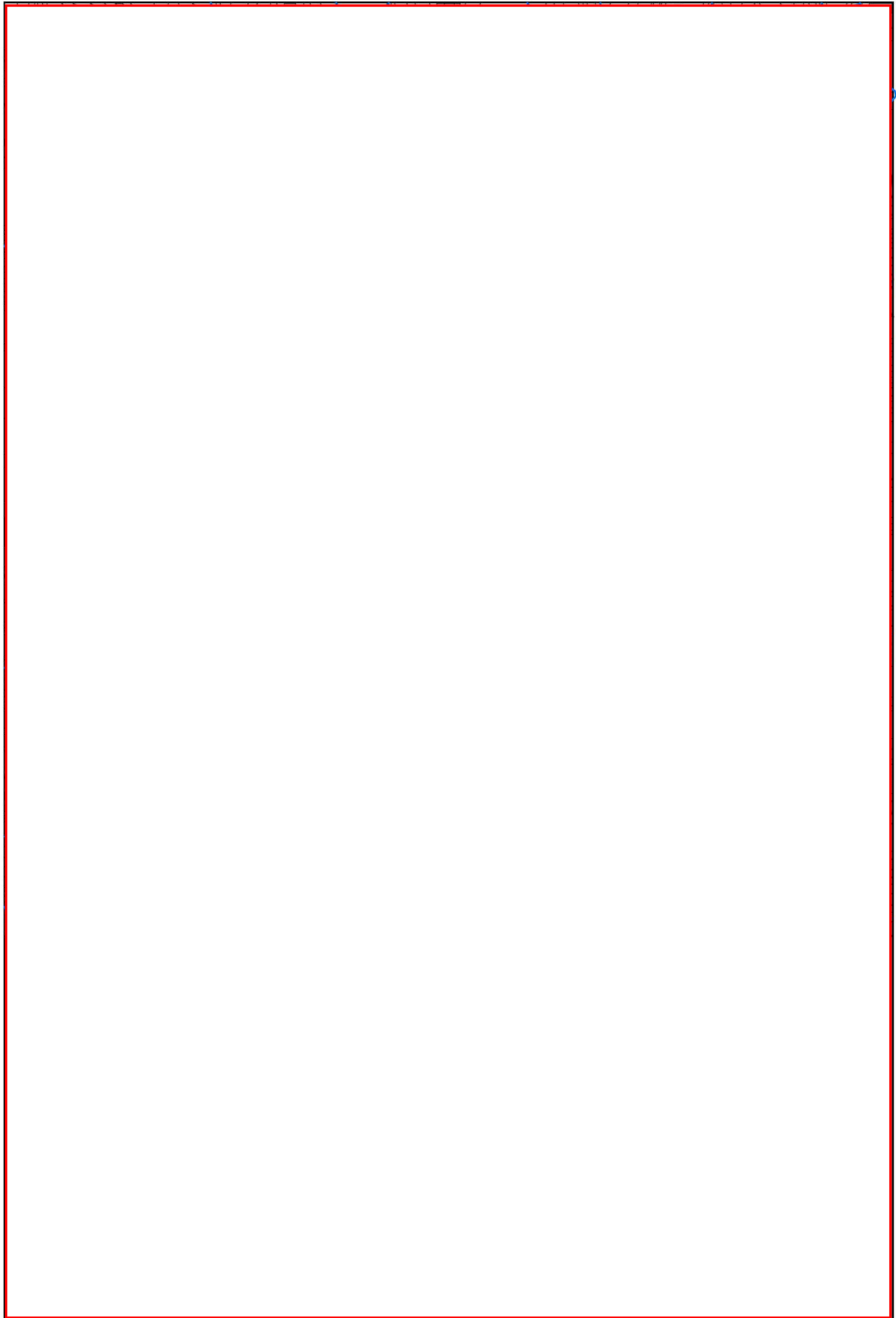


図 6.1.4-5 (3) 貴重な動物種の確認位置(N-4 地区：爬虫類)

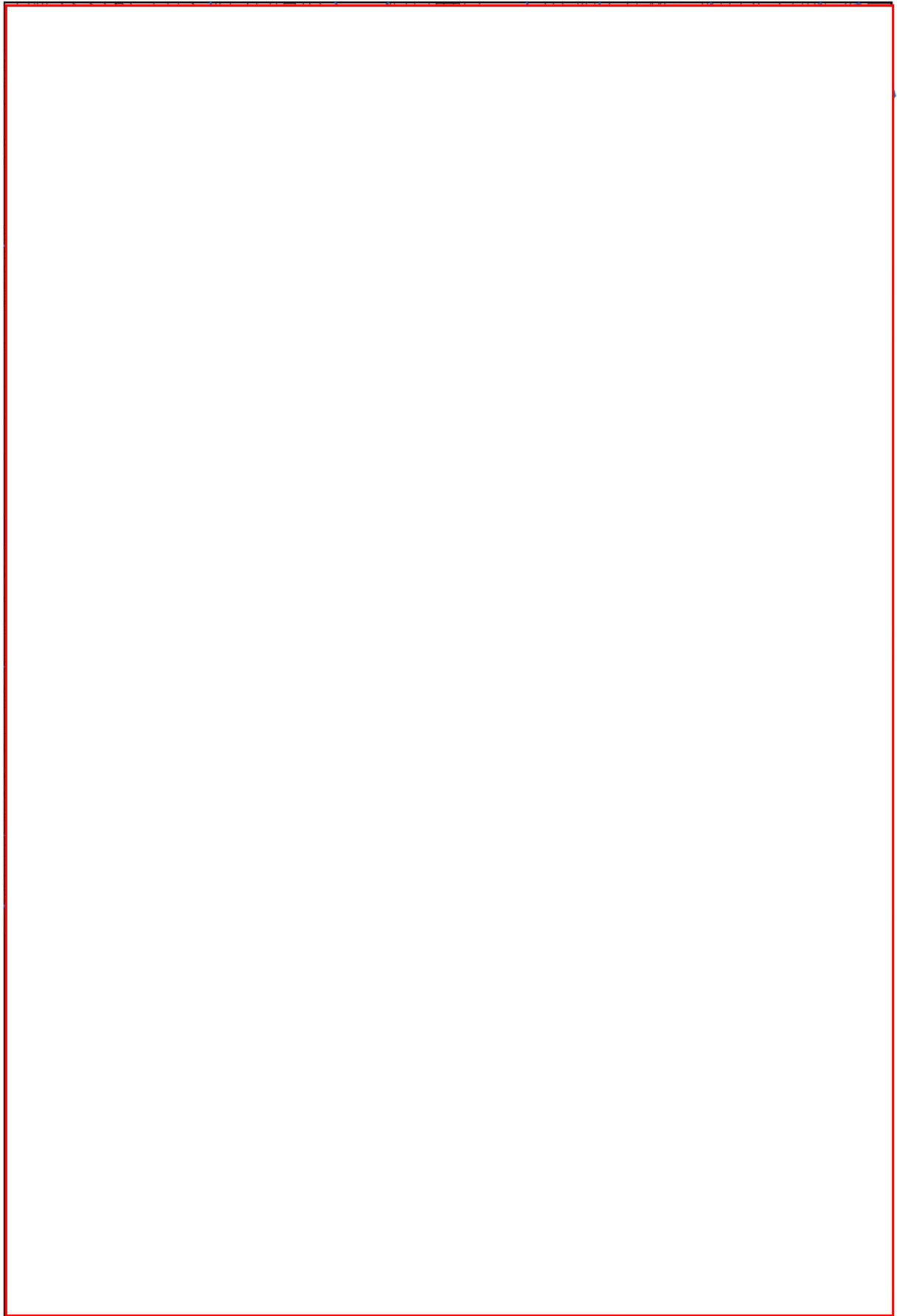


図 6.1.4-5 (4) 貴重な動物種の確認位置(N-4 地区 : 両生類)

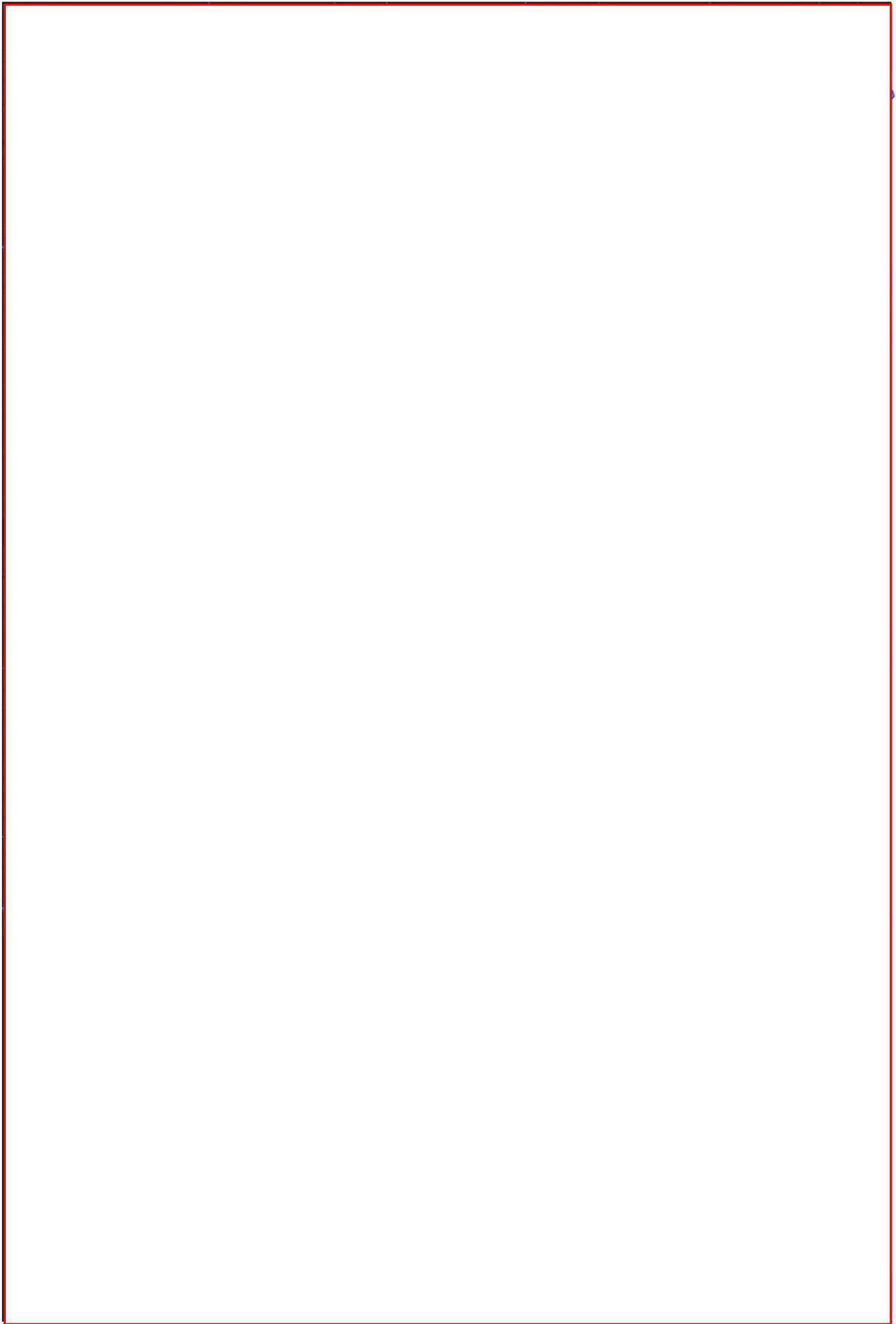


図 6.1.4-5 (5) 貴重な動物種の確認位置(N-4 地区：昆虫類)

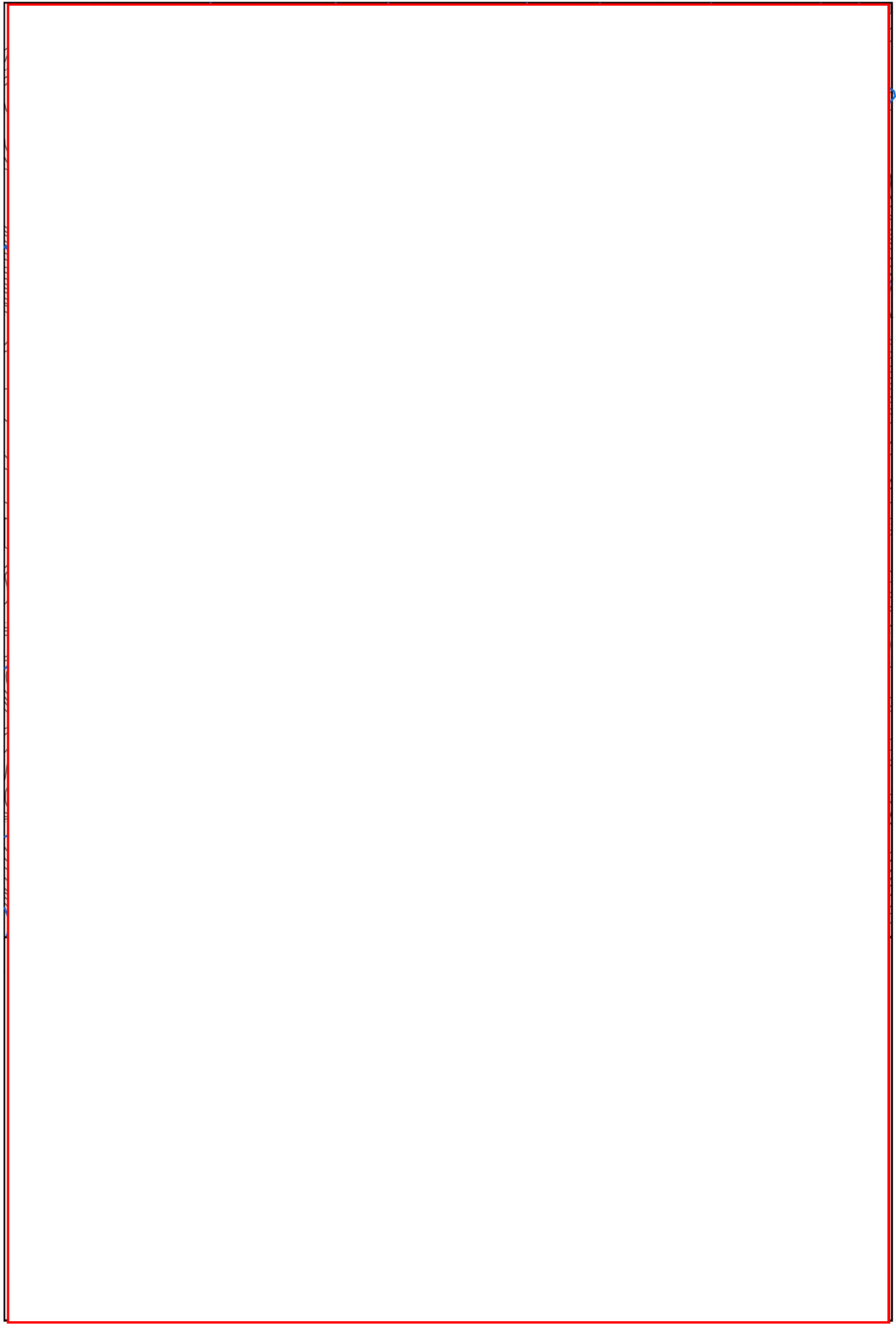


図 6.1.4-5 (6) 貴重な動物種の確認位置(N-4 地区：陸産貝類)



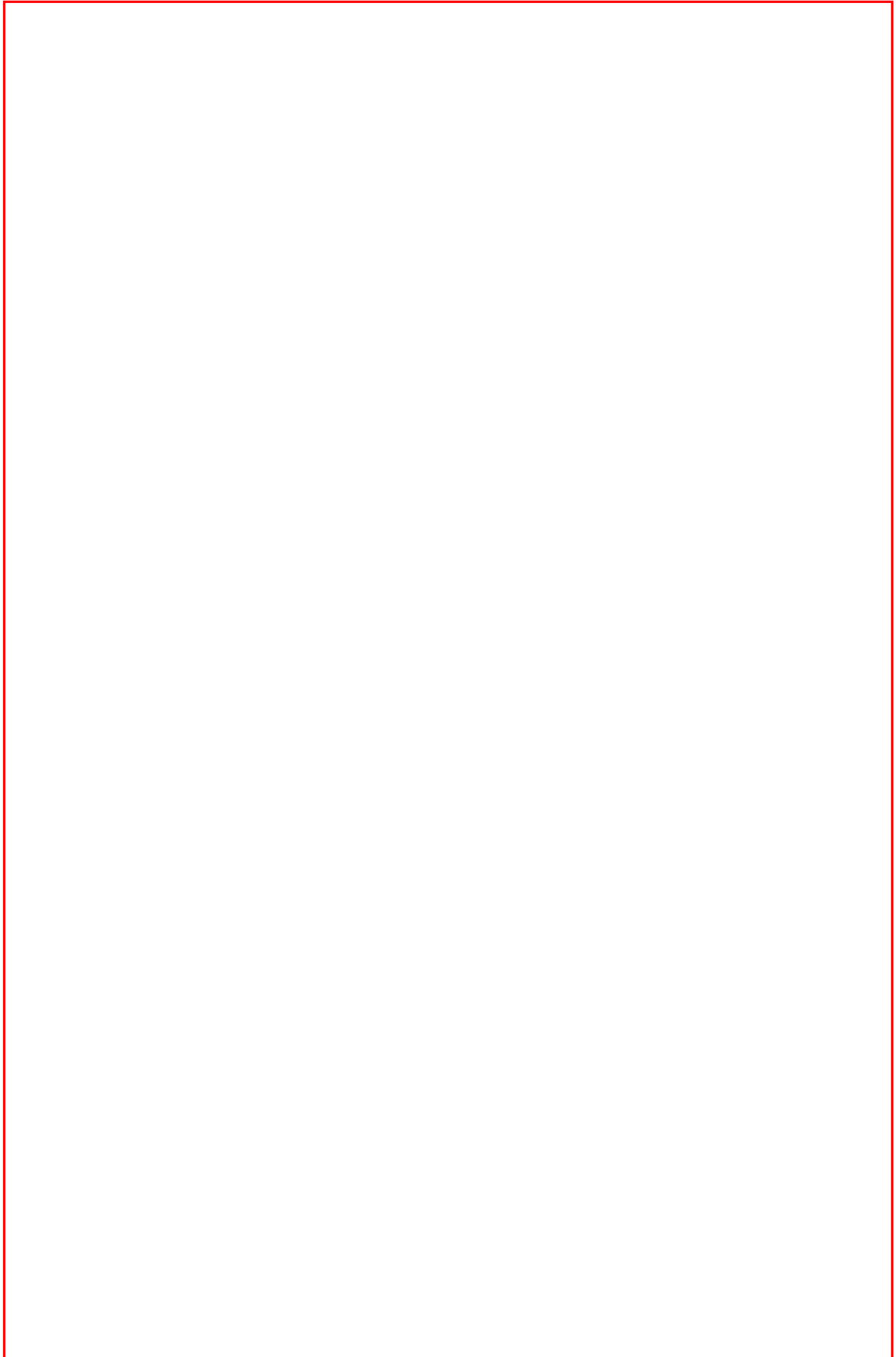


図 6.1.4-6 (1) 確認された貴重な動物種  
6-208

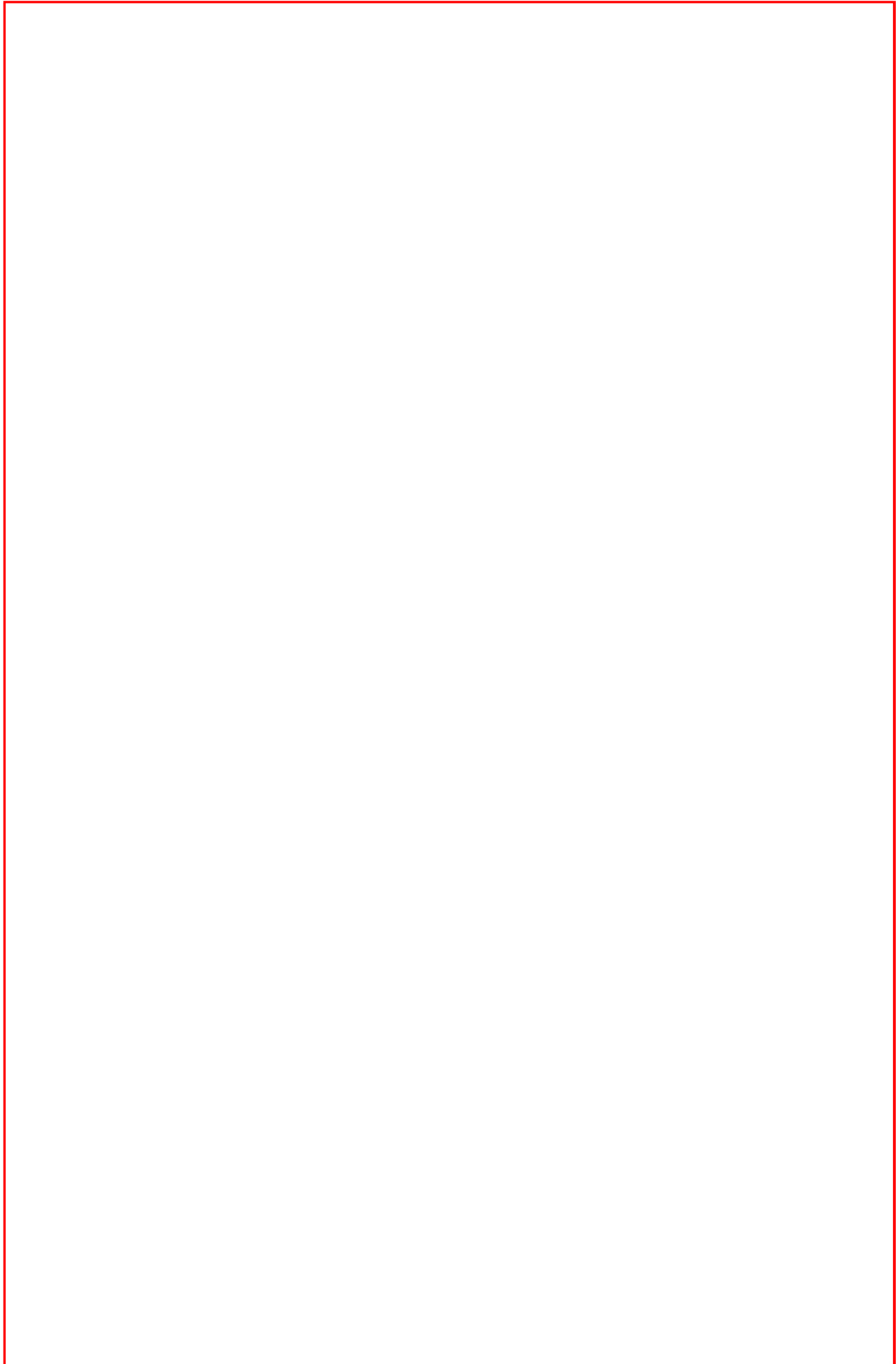


図 6.1.4-6 (2) 確認された貴重な動物種



図 6.1.4-6 (3) 確認された貴重な動物種  
6-210